

伊豆諸島におけるモンハナノミの採集例

高桑 正敏

伊豆諸島からは従来、モンハナノミ属の記録はなかったが、三宅島と御蔵島からモンハナノミ *Tomoxia nipponica* KÖNO が採集されたのでここに報告する。

- 1♂, 御蔵島川田, 23. VII. 1974, 下村徹採集
 - 2♂♂, 三宅島大路池, 25. VII. 1975, 藤田宏採集
- 標本はいずれも筆者が保管。

本種はブナ帯に少なくない種で、離島では屋久島(中腹部)から採集されている。伊豆諸島産上記3♂は、本州ブナ帯の♂と比較すると体型が後方に向かってはるかに狭まり、前附節は著しく短く、中附節は逆に長く、ゲニタリアも少々異なり、四国以西の個体により近い。

(☎236 横浜市金沢区六浦町3577)

ヤエヤマムナビロタマムシ与那国島の記録

秋山 黄洋



ヤエヤマムナビロタマムシ *Sambus aenicollis* FISHER, 1921はフィリピン島のルソンより記載された種類で、日本に産することは黒沢良彦博士が石垣島産の標本に基づいて、甲虫ニュース No. 11, p.4 (1970) に報告している。筆者は入江平吉氏の御好意により、与那国島の本種を検したので報告したい。

29exs., 与那国島所野,
9. V. 1974, 入江平吉採集:

- 11exs., 同上, 13. V. 1974, 同上
- (☎235-02 横浜市磯子区坂下町1-43)

天草諸島下島のタマムシ3種

藤田 宏

熊本県天草郡天草諸島におけるタマムシ科甲虫の報告は今までに知られていないようであるが、筆者は1973年夏期に同島を訪れた宮原道則氏より下記の3種のタマムシを頂いているので、記録しておきたい。

1. カラカネクリタマムシ

Toxoscelus sasakii Y. KUROSAWA

1ex., 天草下島頭岳, 1. VII. 1973

本種は全体唐金色の *Toxoscelus* で、1957年鹿児島県霧島山栗野岳における1♂を基に記載されたが、その後は同県佐多岬での1例を聞く程度で、きわめて稀な種

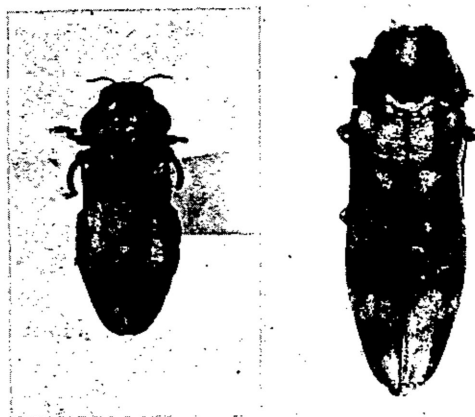
と思われる。(写真左)

2. カラカネナカボソタマムシ

Coraebus ignotus E. SAUNDERS

9exs., 天草下島角山, 31. VII. 1973

九州本土産の個体と比べて差異はなく、原亜種に含まれるものと思う。(写真右)



3. クズノチビタマムシ

Trachys auricollis E. SAUNDERS

1ex., 天草下島角山, 31. VII. 1973

(☎110 台東区台東2-29-6)

オキナワナカボソタマムシの初見記録

藤田 宏

オキナワナカボソタマムシ *Coraebus loochooensis* KANO は、日本産の *Coraebus* ではシリグロナカボソタマムシと並んで最も大型の種で、全身がコバルトブルーに輝く美麗種である。本種は1929年、沖縄本島における1♀(データ不明)*を基に記載されたが、原記載以降は1962年同島伊豆味における1♀が追加されただけで、近年多数の採集者の訪島にもかかわらずまったく採集されていないようである。

筆者は1975年6月、同島を訪れた深町宗通氏の採集品より本種の♂を見出したのでここに報告しておく。実に原記載以来45年目にして得られたこの♂が、本種♂の初見となるわけである。

1♂, 沖縄本島国頭郡与那覇岳, 5. VII. 1975

深町宗通採集(藤田宏保管)

♂は♀に比べるとかなり小型で体長11.5mm程。体型は♀より細く、上翅の白紋も薄い。

採集者の深町氏によれば、この個体は与那覇岳中腹の伐採地で、オシマヤハズ・オキナワフト・スジシロなどのカミキリがよく集まるひこばえの葉上に静止していたものだという事である。樹種は不明だが、ホソバタ

ブによく似た植物であったという。

末文ながら、貴重な標本を恵与された深町宗通氏、本種の♀を検査する機会を与えて下さった黒沢良彦博士に感謝したい。

*) 模式標本には種名を示すラベルが一枚あるだけで、産地、日付を示すラベルはまったく付いていない。(黒沢良彦, 1970, 日本産タマムシ科解説9, 甲虫ニュース No.11より)

(㊤110 台東区台東2-29-6)

札幌におけるシリグロナカボソタマムシの記録 安井 正

シリグロナカボソタマムシ *Coraebus kiangsuanus nigromaculatus* Y. KUROSAWA は、現在までの採集例は数例しかないといわれているが、筆者は1972年に札幌で1♀を採集したので報告しておきたい。今までは本州からのみ採集されており、今回の記録は北海道初記録と思われる。



1♀, 札幌市円山, 13. Ⅷ. 1972,
安井正採集

円山動物園の北側を通過して、菴井山にいたる途中にある「宮が丘ユースホテル」前の側溝に落ちていたものを得た。この付近の道路は札幌オリンピックのために整備されたもので、その当時に側溝と水銀燈がつけられた。

なお、この側溝では本種と同時にエゾアカガネオサムシ(多数)・セダカオサムシ(2♀♀)・オオルリオサムシ(1♂1♀)・ヤハズカミキリ(1♂)などが採集された。

このシリグロナカボソタマムシの標本は現在、北海道大学農学部・応用昆虫学教室に保管されている。

(㊤065 札幌市北区北26条西6)

オオウグイスナガタマムシの東限記録

藤田 宏

オオウグイスナガタマムシ *Agrilus asiaticus igai*



Y. KUROSAWA は本州・九州・対馬より記録されており、本州においては主に関西以西で得られている。東限は長野県伊那谷とされている*が、筆者は東京都下産の標本を所持しているので記録しておきたい。

Iex., 東京都下町田市鶴川,

9. Ⅷ. 1972, 小倉直樹採集

*) 黒沢良彦(1974): 日本産タマムシ科概説(10), 甲虫ニュース Nos. 17-18

(㊤110 台東区台東2-29-6)



小笠原父島における

アカアシハナコメツキの採集例

鈴木 亘

アカアシハナコメツキ *Dicronychus (Platynychus) adjutor* (CANDEZE) は、本州・四国・九州・琉球・台湾・朝鮮などに分布するが、あまり多い種ではないようである。小笠原父島における本種の記録は、VAN ZWALUWENBURG (1957)* に未同定のものとして報告されているだけで、その後の報告はない。しかし筆者は幸いにも父島で採集された本種を検査することができたので、ここに報告しておく。

1♀, 父島三日月山,

30. Ⅴ. 1975, 藤田宏採集

末筆ながらこの発表にあたり色々とお知らせ頂いた大平仁夫博士、ならびに貴重な標本を恵与された藤田宏氏に深く感謝する。

*) VAN ZWALUWENBURG, R. H. (1957) Insects of Micronesia (Coleoptera: Elateridae), Ins. Micronesia, 16(1): 62-63.

(㊤156 世田谷区桜3-14-13)

沖縄本島でイリエシラホシ

サビカミキリを採集

酒井 案理

イリエシラホシサビカミキリ *Mycerinospis (Zotale)*